

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成24年6月分)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 13
3. 調査結果の概要	I - 14

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 悪臭	II - 16

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 24 年 6 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要(平成 24 年 6 月)

埋立地周辺における調査

(1)大気質（図-1(1)参照） 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	6月1日～30日	通年連続

(2)水質

①一般項目（図-1(1)参照） 表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	6月7日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

②埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺) (図-1(2)参照)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(1) 表-1(3)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	6月1日~30日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	6月1,5,12,18,26日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	6月5日 6月18日*	1回/月
全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数		6月18日*	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)

※発電機停止や水処理装置調整に伴う放流停止期間があったため、5月に実施予定の水素イオン濃度、化学的酸素要求量、全窒素、全磷、n-ヘキサン抽出物質、大腸菌群数の項目を6月に測定した。

②-1 放流水、内水及び護岸外周(2) 表-1(4)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<p>●健康項目等</p> <p>カドミウム</p> <p>全シアン</p> <p>鉛</p> <p>六価クロム</p> <p>砒素</p> <p>総水銀</p> <p>アルキル水銀</p> <p>PCB</p> <p>ジクロロメタン</p> <p>四塩化炭素</p> <p>1,2-ジクロロエタン</p> <p>1,1-ジクロロエチレン</p> <p>シス-1,2-ジクロロエチレン</p> <p>1,1,1-トリクロロエタン</p> <p>1,1,2-トリクロロエタン</p> <p>トリクロロエチレン</p> <p>テトラクロロエチレン</p> <p>1,3-ジクロロプロペン</p> <p>チウラム</p> <p>シマジン</p> <p>チオベンカルブ</p> <p>ベンゼン</p> <p>セレン</p> <p>フェノール類</p> <p>銅</p> <p>亜鉛</p> <p>溶解性鉄</p> <p>溶解性マンガン</p> <p>全クロム</p> <p>陰イオン界面活性剤</p> <p>有機燐</p> <p>ほう素</p> <p>ふっ素</p> <p>アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)</p> <p>1,4-ジオキサン</p> <p>ダイオキシン類</p>	<p>放流水 1点</p> <p>内水 1点</p> <p>(処理原水)</p> <p>護岸外周 3点×2層</p> <p>(護岸から30m)</p> <p>【19, 20, 21】</p> <p>上層:海面下1m</p> <p>下層:海底面上2m</p> <p>1,4-ジオキサンは護岸外周のみ調査</p> <p>ダイオキシン類は上層のみ調査</p>	<p>6月18日</p> <p>※放流水・内水のみ</p>	<p>放流水、内水</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>護岸外周</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>放流水 4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>内水 2回/年</p> <p>(8月、2月)</p> <p>護岸外周 1回/年</p> <p>(8月)</p>

※発電機停止や水処理装置調整に伴う放流停止期間があったため、5月に実施予定の放流水及び内水の健康項目等を6月に測定した。

②-2 処分場周辺 表-1(5)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機磷 1,4-ジオキサン		—	2回/年 (8月、2月)

(3)底質

①一般項目 表-1(6)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	—	2回／年 (8月、2月)

②廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺) 表-1(7)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<ul style="list-style-type: none"> ●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位 	1点(表層土) 【15】		2回/年 (8月、2月)
<ul style="list-style-type: none"> ●有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 		—	

(4)騒音・低周波空気振動（図-1(1)参照） 表-1(8)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回/年 (4月、10月)
低周波空気振動音圧レベル			

(5)悪臭 表-1(9)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回/年 (8月、9月)

(6)陸域生態系(鳥類) 表-1(10)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 [a、b、c、d]	実施年に該当せず	4回/年(2年おきに実施) (5月、6月、8月、2月)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設（図-1(3)(4)(5)参照） 表-1(11)

調査項目		調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 :2点 【No.2、3】 堺基地 :2点 【No.1、2】 泉大津基地 :2点 【No.A、B】	—	1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 :2点 【No.2、3】 堺基地 :2点 【No.1、2】 泉大津基地 :2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 :2点 【No.2、3】 堺基地 :2点 【No.1、2】 泉大津基地 :2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量	廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 :3点 【No.1、2、4】 堺基地 :4点 【No.1、2、3、4】 泉大津基地 :3点 【No.A、B、C】	—	4回/年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭	臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 :2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地 :2点(風上、風下) 【No.5、6】 泉大津基地 :2点(風上、風下) 【No.D1、D2】	6月13日 6月13日 6月14日	2回/年 (6月、8月)

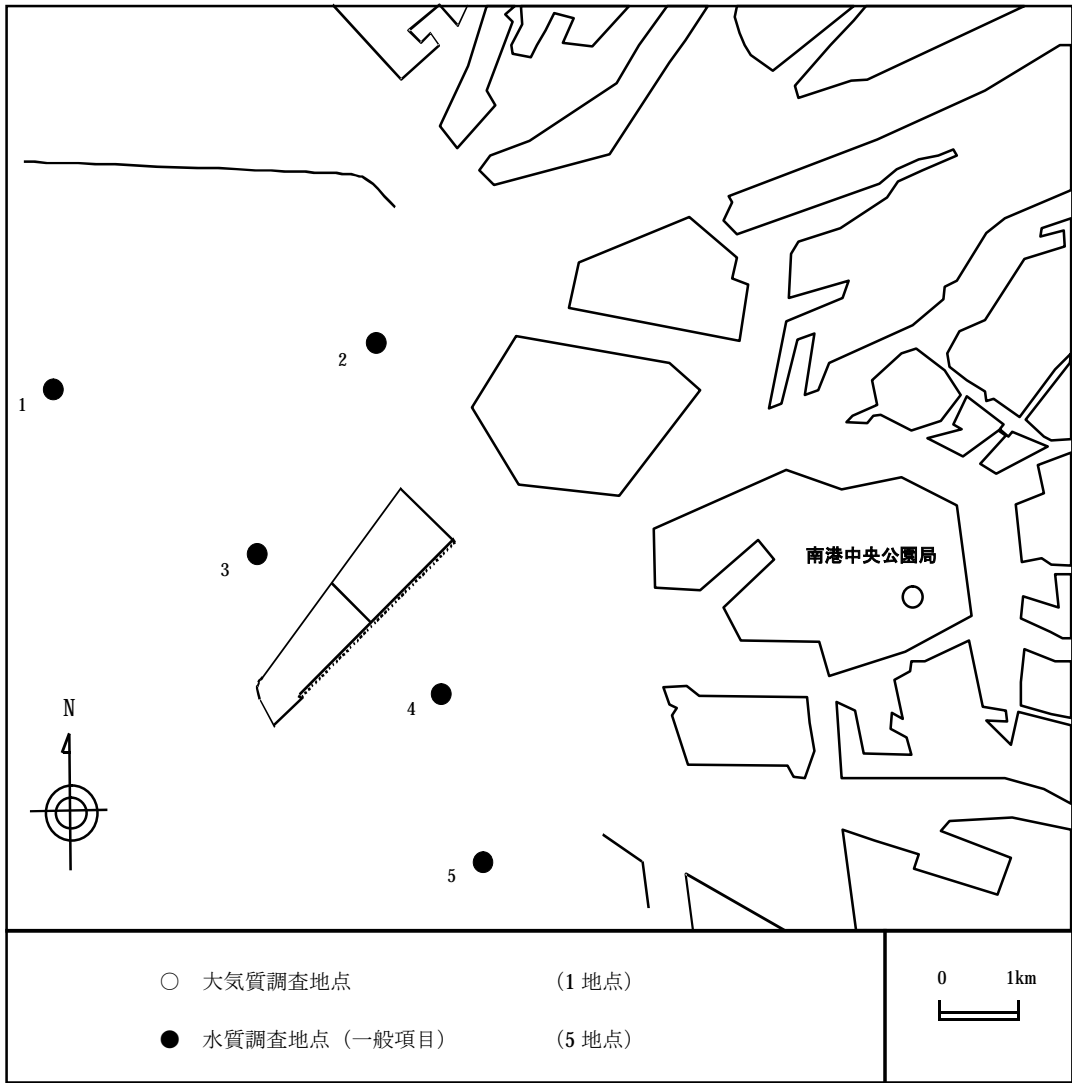


図-1(1) 大気質、水質(一般項目)の調査地点(平成24年6月)

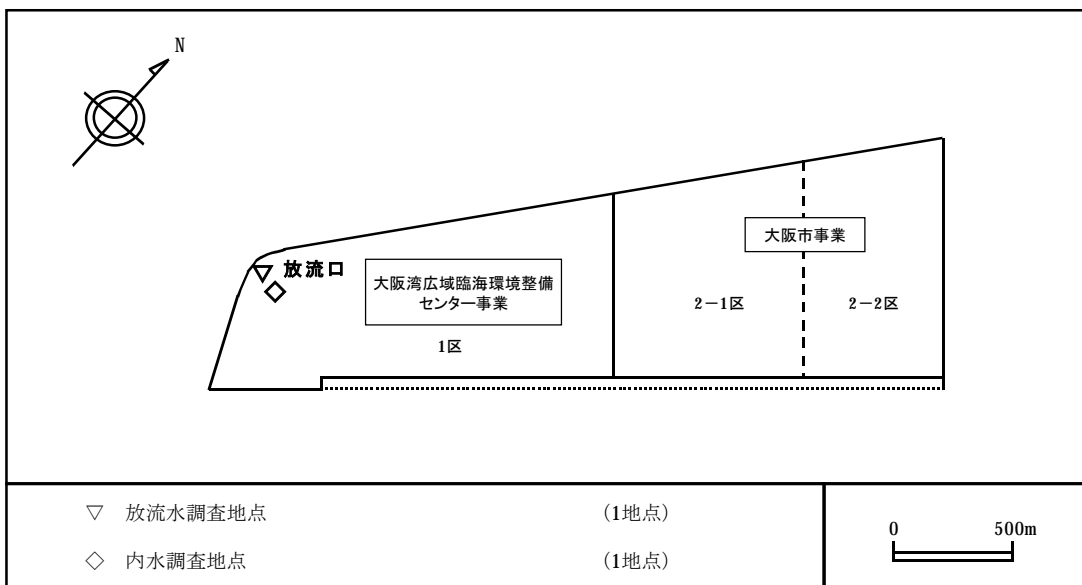
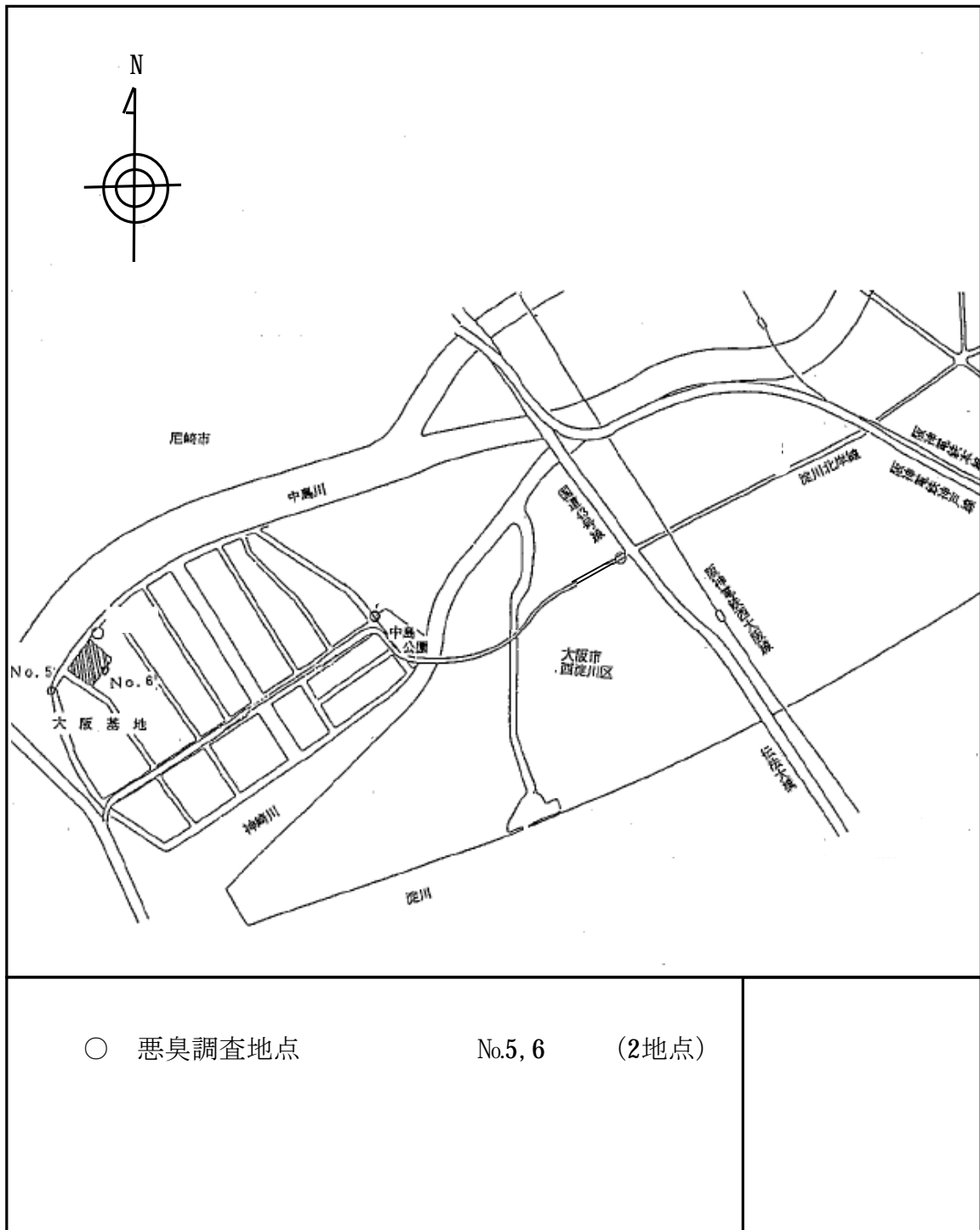


図-1(2) 水質の調査地点(埋立中:放流水、内水)(平成24年6月)



図一(3) 廃棄物搬入施設に係る調査地点(大阪基地) (平成 24 年 6 月)

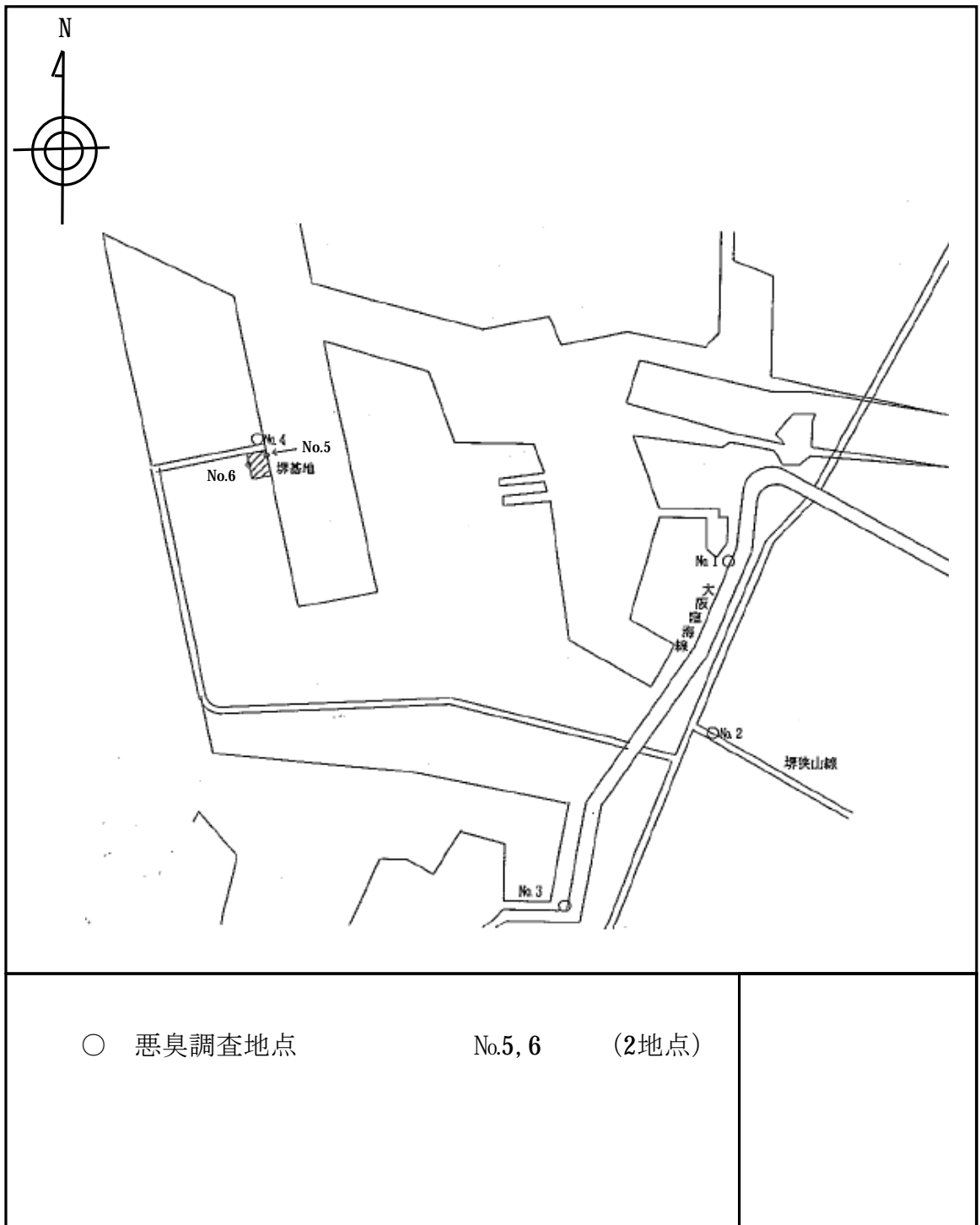


図-1(4) 廃棄物搬入施設に係る調査地点(堺基地) (平成 24 年 6 月)

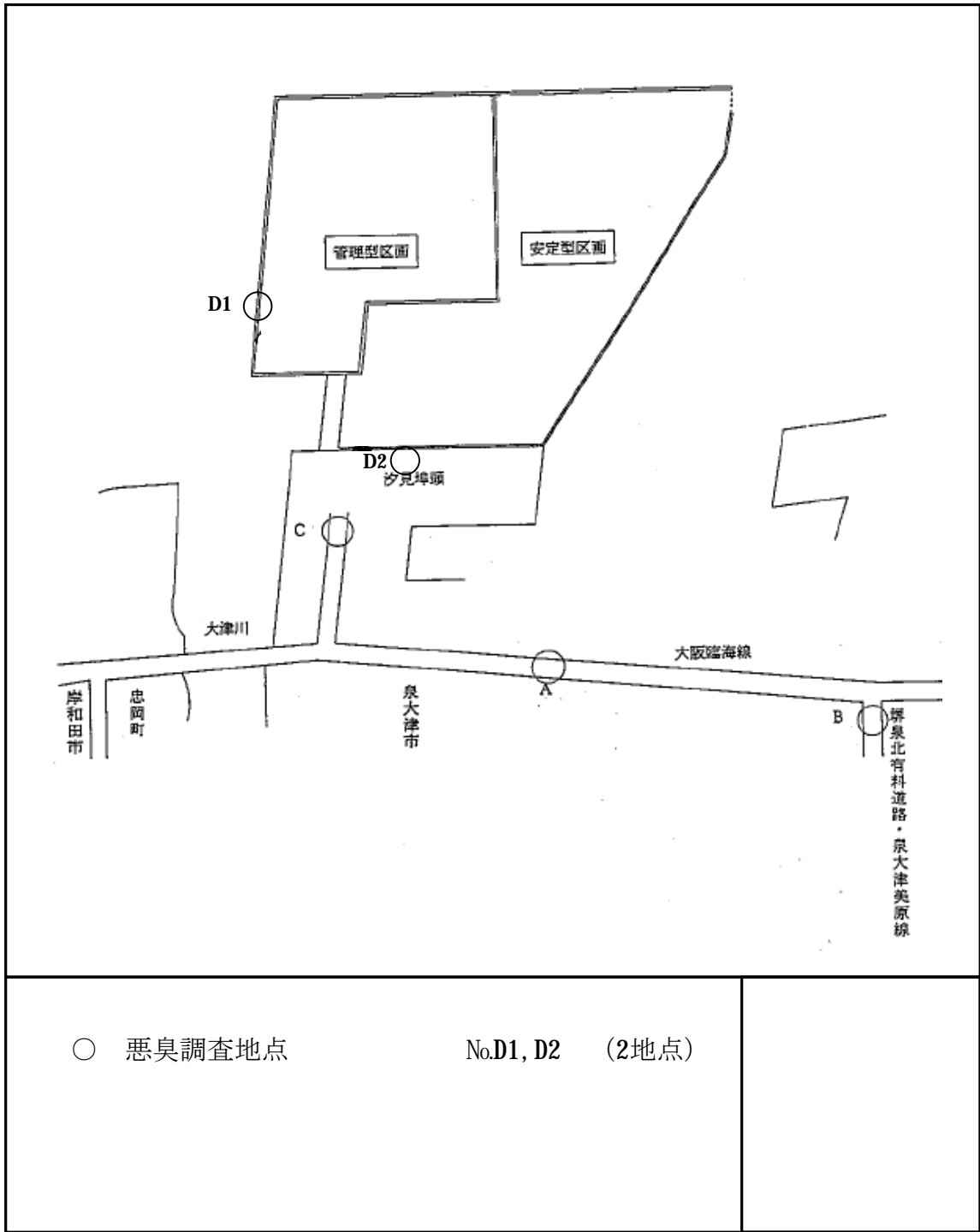
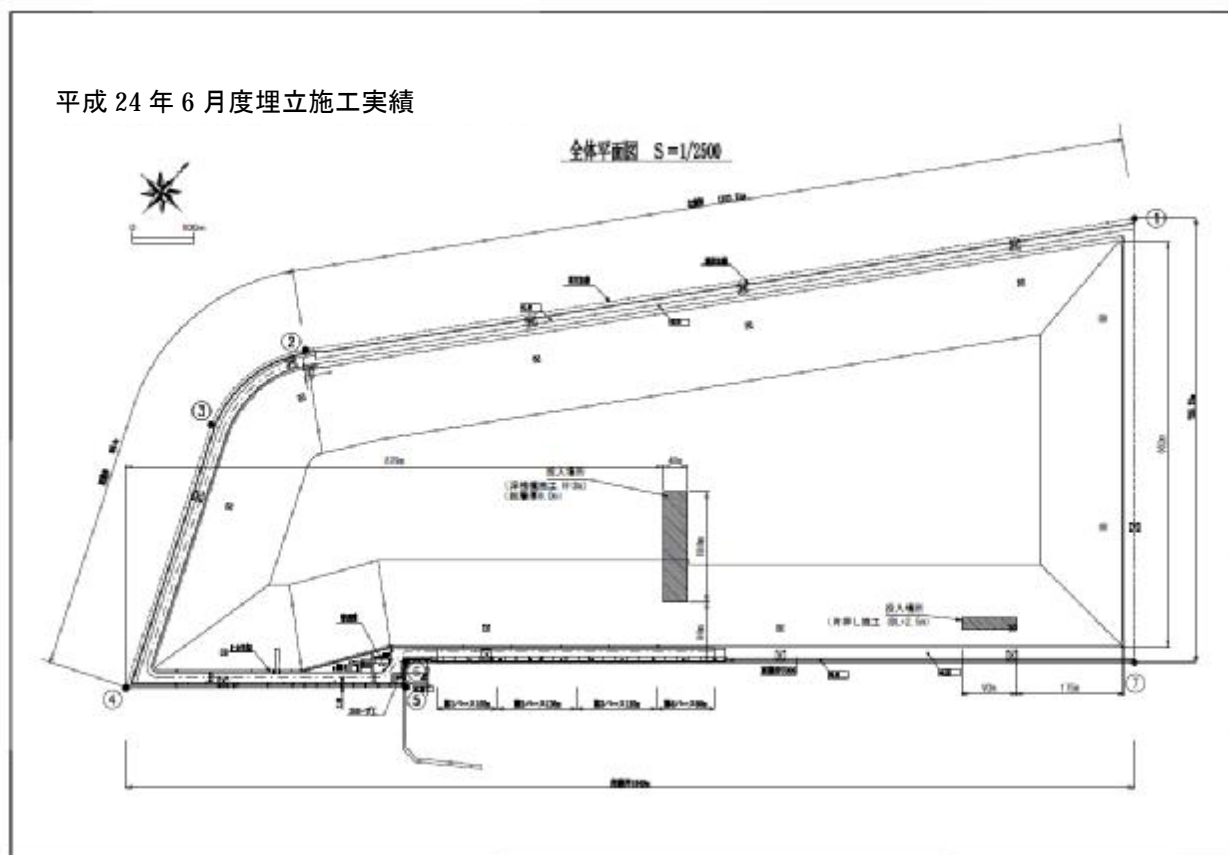


図-1(5) 廃棄物搬入施設に係る調査地点(泉大津基地) (平成 24 年 6 月)

2. 工事の実施状況

平成 24 年 6 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
1,730,369	12.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 24 年 6 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.006ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.011ppm、1時間値の最高値は 0.022ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.027ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.048ppm であり、環境基準値の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.028mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.049mg/m³、1時間値の最高値は 0.118mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.3～8.4、下層で 8.0～8.1 であり、上層では調査地点 2、4 及び 5 において環境基準値の上限値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (8.4)、調査地点 4 (8.4)、調査地点 5 (8.4) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 7.7～8.6 であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 5.2～7.1mg/L、下層で 2.3～2.8mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (5.2mg/L)、調査地点 2 (7.1mg/L)、調査地点 3 (5.5mg/L)、調査地点 4 (5.2mg/L)、調査地点 5 (6.6mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 1.6～4.9mg/L であり、全調査地点でこの範囲を上回っていた。

上層では全地点でクロロフィル a、水素イオン濃度 (pH)、及び溶存酸素量 (DO)の値が高くなっていることから植物プランクトンの活動が活発であったことが認められ、とくに他の地点に比べてクロロフィル a の値が高かった地点 2 及び 5 については化学的酸素要求量 (COD) の値も高くなっていることから、当海域では植物プランクトンの増殖の影響を受けて全般的に上層の化学的酸素要求量 (COD) の値が高くなったものと考えられ、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 8.4~9.7 mg/L、下層で 5.0~6.0mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.73~0.88mg/L、下層で 0.35~0.44mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.82mg/L)、調査地点 2 (0.88mg/L)、調査地点 3 (0.74mg/L)、調査地点 4 (0.73mg/L)、調査地点 5 (0.83mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、0.46~2.1mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.063~0.090mg/L、下層で 0.044~0.058mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 2 及び 3 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.063mg/L)、調査地点 2 (0.075mg/L)、調査地点 3 (0.083mg/L)、調査地点 4 (0.090mg/L)、調査地点 5 (0.078mg/L)、下層における調査地点 2 (0.058mg/L)、調査地点 3 (0.053mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、上層において 0.021~0.15mg/L、下層において 0.020~0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 2~3 度(カリン)、下層で 2~4 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 4~6mg/L、下層で 3~4mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 21~52 μg/L の範囲であった。下層で 1~2 μg/L であった。

②-1 放流水及び内水 [水質様式第6～11号]

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、**0.3～3.0** 度(カリン) (平均値 **1.1** 度(カリン)) の範囲であった。

水温は、**20.3～23.9**°C (平均値 **22.1**°C) の範囲であった。

pH は、**8.1～8.4** の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (**5.0** 以上 **9.0** 以下) の範囲内であった。

COD は、**4.0～4.7**mg/L (平均値 **4.3**mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (**90**mg/L) 及び管理目標値 (**40**mg/L) を下回っていた。

DO は、**6.5～7.5**mg/L (平均値 **7.1**mg/L) であった。

2) 放流水、内水

発電機停止や凝集沈殿設備調整のため放流水の停止期間があり、5月に実施する放流水及び内水の一部の項目については6月に測定した。

・放流水

SS は、**<1～5.9**mg/L (平均値 **3.7**mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (**60**mg/L) 及び管理目標値 (**50**mg/L) を下回っていた。

FSS は、**<1～3.0**mg/L (平均値 **2.1**mg/L) の範囲であった。

[6月5日の調査]

pH は、**7.3** であり、放流水の基準値及び管理目標値の範囲内であった。

COD は、**17**mg/L であり、放流水の基準値及び管理目標値を下回っていた。

T-N は、**4.0**mg/L であり、放流水の基準値 (**120**mg/L、日間平均 **60**mg/L) 及び管理目標値 (**30**mg/L) を下回っていた。

[6月18日の調査]

pH は、**7.4** であり、放流水の基準値及び管理目標値の範囲内であった。

COD は、**21**mg/L であり、放流水の基準値及び管理目標値を下回っていた。

T-N は、**3.7**mg/L であり、放流水の基準値及び管理目標値を下回っていた。

T-P は、**0.23**mg/L であり、放流水の基準値 (**16**mg/L、日間平均 **8**mg/L) 及び管理目標値 (**4**mg/L) を下回っていた。

n-ヘキサン抽出物質は、報告下限値未満 (**<0.5**mg/L) であり、放流水の基準値及び管理目標値 (鉍油類含有量 **5**mg/L、動植物油脂類含有量 **30**mg/L) を下回っていた。

大腸菌群数は、不検出であり、放流水の基準値及び管理目標値 (日間平均 **3000** 個/cm³ 以下) を下回っていた。

砒素は **0.009**mg/L であった。

セレンは **0.035**mg/L であった。

亜鉛は **0.03**mg/L であった。

陰イオン界面活性剤は **0.14**mg/L であった。

ほう素は **11**mg/L であった。

ふっ素は **6.8**mg/L であった。

アンモニア等（アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物）は **2.1mg/L** であった。
ダイキシン類は **0.00035pg-TEQ/L** であった。
上記以外の調査項目については、いずれも報告下限値未満であった。
放流水の基準値の定められている項目は、いずれも基準値以下であった。

・内水

SS は、**3.6～12mg/L**（平均値 **7.7mg/L**）の範囲であった。

FSS は、**1.3～4.1mg/L**（平均値 **2.7mg/L**）の範囲であった。

〔6月5日の調査〕

pH は **8.7**、COD は **20mg/L**、T-N は **4.0mg/L** であった。

〔6月18日の調査〕

pH は **8.0**、COD は **20mg/L**、T-N は **3.9mg/L**、T-P は **0.25mg/L**、n-ヘキサン抽出物質は **0.7mg/L**、
大腸菌群数は不検出であった。

砒素は **0.007 mg/L** であった。

セレンは **0.020mg/L** であった。

溶解性マンガンは **0.01 mg/L** であった。

陰イオン界面活性剤は **0.16 mg/L** であった。

ほう素は **9.4mg/L** であった。

ふっ素は **6.3mg/L** であった。

アンモニア等（アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物）は **1.2mg/L** であった。

上記以外の調査項目については、いずれも報告下限値未満であった。

②-2 処分場周辺

6月は実施せず。

(3) 底質

6月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

6月は実施せず。

(5) 悪臭

6月は実施せず。

(6) 陸域生態系（鳥類）

今年度は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

(1) 大気質

6月 は実施せず。

(2) 騒音・振動

6月 は実施せず。

(3) 交通量

6月 は実施せず。

(4) 悪臭 [悪臭様式第2号]

1) 大阪基地

臭気指数は No. 5（風下）、No. 6（風上）ともに<10であり、規制基準値（10）を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

2) 堺基地

臭気指数は No. 5（風下）、No. 6（風上）ともに<10であり、規制基準値（10）を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

3) 泉大津基地

臭気指数はD 1（風上）、D 2（風下）ともに<10であり、規制基準値（10）を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに0で、臭質はいずれも無臭であった。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）
- (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75% 水質値**」を用いるものとする。
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 規制基準等

(1)水質

①水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型 最終処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	60mg/L 以上	50mg/L 以下
	全窒素 (T-N)	120mg/L (日間平均 60mg/L) 以下	30mg/L 以下
	全リン (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質 含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L 以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L 以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000 個/cm ³ 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋
2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

②水質（健康項目・放流水）

調査項目	基準値 ^{注1)}	管理目標値 ^{注2)}	報告下限値
カドミウム	0.1mg/L以下		0.005mg/L
全シアン	1mg/L以下		0.025mg/L
鉛	0.1mg/L以下		0.01mg/L
六価クロム	0.5mg/L以下		0.02mg/L
砒素	0.1mg/L以下		0.005mg/L
総水銀	0.005mg/L以下		0.0005mg/L
アルキル水銀	検出されないこと		0.0005mg/L
P C B	0.003mg/L以下		0.0005mg/L
ジクロロメタン	0.2mg/L以下		0.002mg/L
四塩化炭素	0.02mg/L以下		0.002mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.04mg/L以下		0.002mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.2mg/L以下		0.002mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/L以下		0.002mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	3mg/L以下		0.002mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/L以下		0.002mg/L
トリクロロエチレン	0.3mg/L以下		0.002mg/L
テトラクロロエチレン	0.1mg/L以下		0.002mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/L以下		0.002mg/L
チウラム	0.06mg/L以下		0.006mg/L
シマジン	0.03mg/L以下		0.003mg/L
チオベンカルブ	0.2mg/L以下		0.02mg/L
ベンゼン	0.1mg/L以下		0.002mg/L
セレン	0.1mg/L以下		0.005mg/L
フェノール類	5mg/L以下		0.025mg/L
銅	3mg/L以下		0.02mg/L
亜鉛	2mg/L以下		0.02mg/L
溶解性鉄	10mg/L以下		0.02mg/L
溶解性マンガン	10mg/L以下		0.01mg/L
全クロム	2mg/L以下		0.02mg/L
陰イオン界面活性剤	—		0.01mg/L
有機燐	1mg/L以下		0.05mg/L
ほう素	230mg/L以下		0.01mg/L
ふっ素	15mg/L以下		0.1mg/L
アンモニア等 ^{注3)}	200mg/L以下	100mg/L以下	0.3mg/L
ダイオキシン類	10pg-TEQ/L以下		JIS K 0312による。

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一（ダイオキシン類については、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則別表第二）より抜粋。
2. 管理目標値は、事後調査計画書における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。
3. 「アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸性化合物及び硝酸化合物」を示す。
排水基準値は、アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量が200mg/L以下であることを示す。なお、各測定値のいずれもが報告下限値未満（<0.1mg/L）の場合、合計値は報告下限値未満（<0.3mg/L）とする。各測定値のいずれかが報告下限値以上の場合は、報告下限値未満の測定値については、報告下限値を測定値として合算を行う。

(2) 悪臭

項目	基準値
臭気指数	敷地境界線における規制基準：10 規制地域：大阪市の区域 ^{注1)} 、堺市の区域 ^{注2)} (泉大津市については、指導指針値 ^{注3)} の取り扱いである。)

注1：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；大阪市（平成18年1月告示）

注2：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；堺市（平成19年11月告示）

注3：泉大津市悪臭公害防止指導要綱；泉大津市（昭和59年3月公布）

※ なお、大阪府の大気環境に関する環境保全目標では、悪臭については「大部分の地域住民が日常生活において感知しない程度」となっている。

3. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全燐 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表[平成24年6月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	705
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成24年6月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (金)	0.011	0.022	
	2 (土)	0.007	0.012	
	3 (日)	0.004	0.006	
	4 (月)	0.008	0.014	
	5 (火)	0.010	0.022	
	別	6 (水)	0.006	0.016
		7 (木)	0.009	0.020
		8 (金)	0.006	0.014
		9 (土)	0.004	0.012
		10 (日)	0.004	0.010
		11 (月)	0.005	0.010
		12 (火)	0.005	0.013
		13 (水)	0.010	0.015
		14 (木)	0.006	0.011
		15 (金)	0.005	0.012
値	16 (土)	(0.002)	(0.005)	
	17 (日)	0.005	0.014	
	18 (月)	0.010	0.017	
	19 (火)	0.003	0.011	
	20 (水)	0.007	0.015	
	21 (木)	0.003	0.005	
	22 (金)	0.003	0.005	
	23 (土)	0.008	0.019	
	24 (日)	0.007	0.013	
	25 (月)	0.005	0.011	
	26 (火)	0.006	0.012	
	27 (水)	0.008	0.018	
	28 (木)	0.006	0.012	
	29 (金)	0.007	0.016	
	30 (土)	0.004	0.008	
有効測定日数 (日)		29		
測定時間 (時間)		705		
月平均値 (ppm)		0.006		
日平均値の最高値 (ppm)		0.011		
1時間値の最高値 (ppm)		0.022		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注:1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果[平成24年6月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.006	0.030
	2 (土)	0.001	0.006
	3 (日)	0.000	0.001
	4 (月)	0.005	0.022
	5 (火)	0.014	0.063
	6 (水)	0.002	0.008
	7 (木)	0.007	0.023
	8 (金)	0.005	0.015
	9 (土)	0.003	0.022
	10 (日)	0.000	0.001
別	11 (月)	0.003	0.009
	12 (火)	0.008	0.026
	13 (水)	0.013	0.043
	14 (木)	0.009	0.052
	15 (金)	0.003	0.008
	16 (土)	0.010	0.032
	17 (日)	0.002	0.011
	18 (月)	0.007	0.026
	19 (火)	0.013	0.052
	20 (水)	0.005	0.018
値	21 (木)	0.008	0.033
	22 (金)	0.003	0.010
	23 (土)	0.003	0.012
	24 (日)	0.003	0.012
	25 (月)	0.003	0.013
	26 (火)	0.004	0.011
	27 (水)	0.002	0.005
	28 (木)	0.005	0.021
	29 (金)	0.005	0.040
	30 (土)	0.006	0.022
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.014	
1時間値の最高値 (ppm)		0.063	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果[平成24年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.031	0.061
	2 (土)	0.027	0.036
	3 (日)	0.011	0.018
	4 (月)	0.029	0.047
	5 (火)	0.037	0.060
	6 (水)	0.026	0.055
	7 (木)	0.039	0.065
	8 (金)	0.035	0.058
	9 (土)	0.022	0.049
	10 (日)	0.009	0.013
別	11 (月)	0.026	0.046
	12 (火)	0.029	0.045
	13 (水)	0.048	0.076
	14 (木)	0.031	0.052
	15 (金)	0.027	0.045
	16 (土)	0.017	0.037
	17 (日)	0.016	0.030
	18 (月)	0.045	0.078
	19 (火)	0.022	0.046
	20 (水)	0.022	0.036
値	21 (木)	0.036	0.061
	22 (金)	0.020	0.041
	23 (土)	0.030	0.067
	24 (日)	0.026	0.044
	25 (月)	0.027	0.046
	26 (火)	0.021	0.032
	27 (水)	0.030	0.048
	28 (木)	0.021	0.042
	29 (金)	0.025	0.035
	30 (土)	0.027	0.036
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.027	
日平均値の最高値 (ppm)		0.048	
1時間値の最高値 (ppm)		0.078	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		2	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果[平成24年6月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO2/ (NO+NO2) (%)		
日	1 (金)	0.037	84.7	0.073	
	2 (土)	0.028	95.0	0.042	
	3 (日)	0.011	98.5	0.018	
	4 (月)	0.034	86.3	0.067	
	5 (火)	0.051	72.3	0.123	
	別	6 (水)	0.028	92.6	0.056
		7 (木)	0.046	85.6	0.086
		8 (金)	0.040	87.3	0.073
		9 (土)	0.025	87.9	0.071
		10 (日)	0.009	99.1	0.014
		11 (月)	0.029	89.5	0.055
		12 (火)	0.037	79.0	0.062
		13 (水)	0.061	79.3	0.102
		14 (木)	0.040	77.9	0.096
		15 (金)	0.029	91.1	0.052
値	16 (土)	0.027	64.2	0.066	
	17 (日)	0.018	87.1	0.036	
	18 (月)	0.052	85.9	0.096	
	19 (火)	0.034	63.3	0.083	
	20 (水)	0.026	82.5	0.047	
	21 (木)	0.044	81.5	0.083	
	22 (金)	0.023	86.6	0.043	
	23 (土)	0.032	92.1	0.072	
	24 (日)	0.029	91.1	0.045	
	25 (月)	0.030	90.7	0.053	
	26 (火)	0.025	85.3	0.040	
	27 (水)	0.033	92.5	0.053	
	28 (木)	0.026	79.9	0.053	
	29 (金)	0.030	82.2	0.075	
	30 (土)	0.033	82.8	0.058	
有効測定日数 (日)		30			
測定時間 (時間)		716			
月平均値 (ppm)		0.032			
日平均値の最高値 (ppm)		0.061			
1時間値の最高値 (ppm)		0.123			
月平均値 NO2/(NO+NO2) (%)		83.9			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO2/(NO+NO2)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO2/(NO+NO2)

$$= \frac{(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和})}{(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和)}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果〔平成24年6月分〕

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (mg/m^3)	1時間値の 最高値 (mg/m^3)	
日	1 (金)	0.041	0.065	
	2 (土)	0.036	0.048	
	3 (日)	0.026	0.041	
	4 (月)	0.031	0.045	
	5 (火)	0.031	0.052	
	6 (水)	0.023	0.038	
	7 (木)	0.048	0.118	
	8 (金)	0.043	0.074	
	9 (土)	0.022	0.050	
	10 (日)	0.025	0.039	
	別	11 (月)	0.023	0.043
		12 (火)	0.022	0.039
		13 (水)	0.027	0.047
		14 (木)	0.025	0.044
		15 (金)	0.027	0.042
16 (土)		0.021	0.056	
17 (日)		0.026	0.043	
18 (月)		0.049	0.080	
19 (火)		0.028	0.066	
20 (水)		0.023	0.037	
値	21 (木)	0.022	0.037	
	22 (金)	0.014	0.029	
	23 (土)	0.018	0.038	
	24 (日)	0.032	0.049	
	25 (月)	0.032	0.053	
	26 (火)	0.024	0.042	
	27 (水)	0.024	0.039	
	28 (木)	0.020	0.031	
	29 (金)	0.023	0.040	
	30 (土)	0.035	0.049	
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		716		
月平均値 (mg/m^3)		0.028		
日平均値の最高値 (mg/m^3)		0.049		
1時間値の最高値 (mg/m^3)		0.118		
1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成24年6月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (金)	0.8	1.6	WSW	WSW
	2 (土)	0.9	2.4	W	ENE
	3 (日)	1.3	2.1	NE	NE, ENE
	4 (月)	1.0	2.1	WSW	WSW, W
	5 (火)	1.1	3.4	NE	NE
	6 (水)	1.3	2.5	NE	SW
	7 (木)	0.9	2.5	WSW	NNW
	8 (金)	0.9	2.0	ENE	CALM
	9 (土)	1.1	1.8	NE	NNW, N
	10 (日)	1.2	2.3	NNW	NNW
別	11 (月)	0.8	1.6	ENE	NNW
	12 (火)	1.5	2.4	NE	NE
	13 (水)	0.7	1.2	ENE	CALM
	14 (木)	1.1	2.4	WSW	ENE
	15 (金)	1.1	2.3	SW	NE
	16 (土)	1.3	3.1	SSW	SSW
	17 (日)	1.3	2.6	SW, WSW	WSW
	18 (月)	0.8	2.0	SW	WSW
	19 (火)	1.7	3.6	NNE	NE
	20 (水)	1.0	1.7	SSW	SW
値	21 (木)	1.2	2.0	ESE	N
	22 (金)	1.5	2.5	N	N
	23 (土)	0.9	2.0	WSW	NNW
	24 (日)	0.7	2.5	WSW	CALM
	25 (月)	1.3	2.3	NE	NE
	26 (火)	1.4	3.1	NE	NNE
	27 (水)	0.9	1.6	WSW	NNE
	28 (木)	2.3	4.0	NE	NE
	29 (金)	1.3	2.5	WSW	WSW, W
	30 (土)	0.6	1.6	ESE	CALM
測定時間 (時間)		720			
月平均風速 (m/s)		1.1			
月最大風速 (m/s)		4.0			
月最多風向 (16方位)		NE			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成24年6月分]

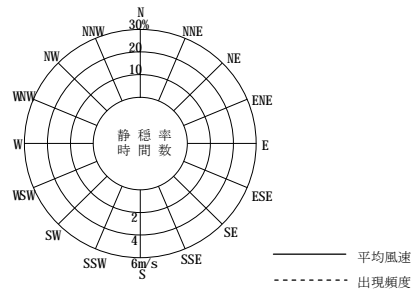
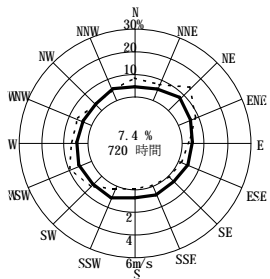
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	55	103	65	29	17	11	4	4	16	53	78	56	52	27	37	60	53	720
頻度 (%)	7.6	14.3	9.0	4.0	2.4	1.5	0.6	0.6	2.2	7.4	10.8	7.8	7.2	3.8	5.1	8.3	7.4	-
平均風速 (m/s)	1.1	1.6	1.3	1.1	1.1	0.9	1.0	0.9	1.3	1.2	1.3	1.1	0.9	0.8	1.1	0.9	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成24年6月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成24年6月分]

調査日：平成24年6月7日

調査点 項目		調査点					最小値 ~ 最大値	平均値
		1	2	3	4	5		
時刻		8:25	8:00	8:45	9:20	9:05	—	—
透明度	[m]	2.8	1.9	2.4	1.6	1.6	1.6 ~ 2.8	2.1
水温	[°C]	19.3	19.6	19.3	19.2	19.7	19.2 ~ 19.7	19.4
		17.2	16.9	17.1	16.9	17.0	16.9 ~ 17.2	17.0
塩分	[—]	25.8	27.7	27.6	29.7	31.2	25.8 ~ 31.2	28.4
		31.7	31.9	31.9	31.9	31.9	31.7 ~ 31.9	31.9
濁度	[度(カリン)]	2	3	2	2	3	2 ~ 3	2
		4	2	4	3	3	2 ~ 4	3
浮遊物質 (SS)	[mg/L]	4	6	4	5	5	4 ~ 6	5
		4	3	4	3	3	3 ~ 4	3
水素イオン濃度 (pH)	[—]	8.3	8.4	8.3	8.4	8.4	8.3 ~ 8.4	-
		8.1	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0 ~ 8.1	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	5.2	7.1	5.5	5.2	6.6	5.2 ~ 7.1	5.9
		2.8	2.6	2.5	2.4	2.3	2.3 ~ 2.8	2.5
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	8.4	8.7	8.8	9.7	9.5	8.4 ~ 9.7	9.0
	飽和度 [%]	106	112	113	125	125	106 ~ 125	116
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.82	0.88	0.74	0.73	0.83	0.73 ~ 0.88	0.80
		0.42	0.43	0.44	0.35	0.36	0.35 ~ 0.44	0.40
全磷 (T-P)	[mg/L]	0.063	0.075	0.083	0.090	0.078	0.063 ~ 0.090	0.078
		0.044	0.058	0.053	0.048	0.044	0.044 ~ 0.058	0.049
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	21	52	43	37	50	21 ~ 52	41
		2	2	1	1	2	1 ~ 2	2

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

水質様式第6号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成 24年 6 月分]

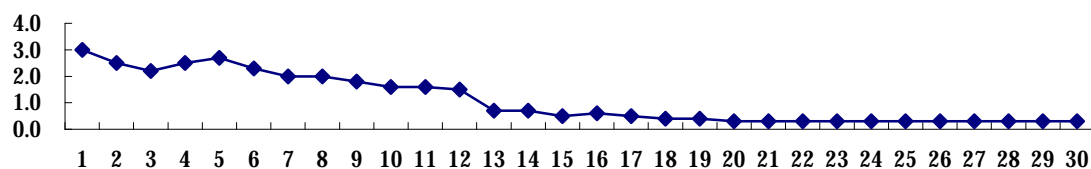
項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(NTU)]	0.3	～	3.0	1.1
水温	[℃]	20.3	～	23.9	22.1
pH	[—]	8.1	～	8.4	8.4
COD	[mg/L]	4.0	～	4.7	4.3
DO	[mg/L]	6.5	～	7.5	7.1
特記事項					

水質様式第7号

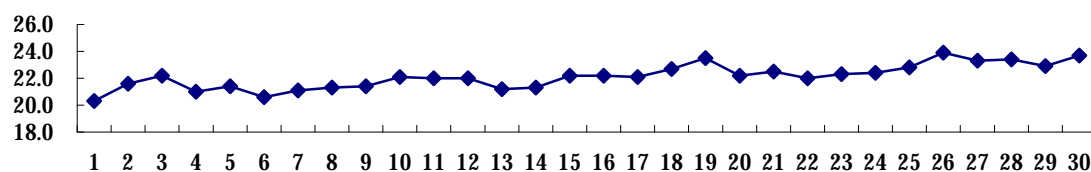
水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成24年6月分]

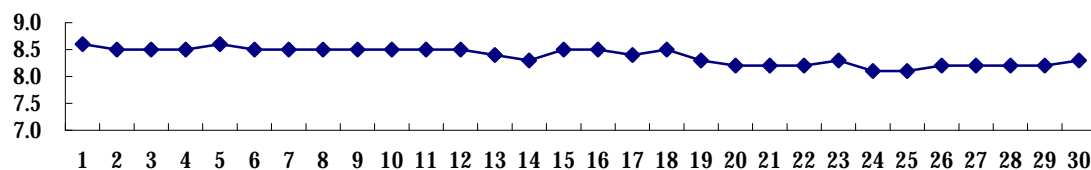
濁度[度(カリン)]



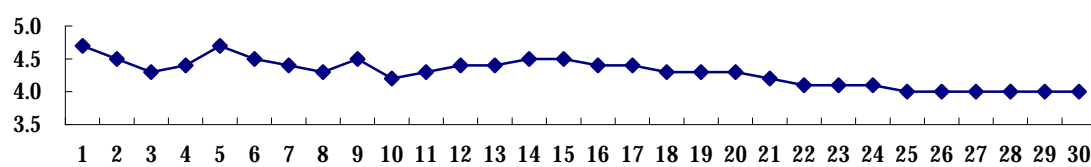
水温[°C]



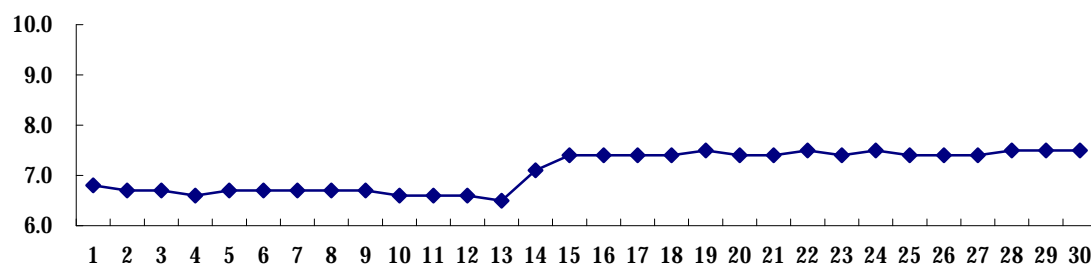
水素イオン濃度(pH)[-]



化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(DO)[mg/L]



水質様式第8号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①） [平成24年6月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
	6/1 (金)	9:45	5.7	2.8	10:00	12
6/5 (火)	10:00	4.6	2.6	9:40	11	3.1
6/12 (火)	9:55	5.9	3.0	9:40	6.8	3.0
6/18 (月)	13:45	1.2	< 1	14:05	5.2	1.9
6/26 (火)	9:45	< 1	< 1	10:00	3.6	1.3
平均値	—	3.7	2.1	—	7.7	2.7
最小値	—	< 1	< 1	—	3.6	1.3
最大値	—	5.9	3.0	—	12	4.1

特記事項

水質様式第9号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年6月分]

調査日：平成24年6月5日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	10:00	09:40
pH[－]	7.3(22.3℃)	8.7(21.7℃)
COD[mg/L]	17	20
T-N[mg/L]	4.0	4.0

特記事項

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年6月分]

調査日：平成24年6月18日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	13:45	14:05
pH[－]	7.4(26℃)	8.0(27℃)
COD[mg/L]	21	20
T-N[mg/L]	3.7	3.9

特記事項

※発電機停止や水処理装置調整に伴う放流停止期間があったため、5月に実施予定の水素イオン濃度、化学的酸素要求量、全窒素、全リン、n-ヘキサン抽出物質、大腸菌群数の項目を6月に測定した。

水質様式第10号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年6月分]

調査日：平成24年6月18日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	13:45	14:05
T-P[mg/L]	0.23	0.25
n-ヘキサン抽出物質[mg/L]	< 0.5	0.7
大腸菌群数[個/cm ³]	不検出	不検出

特記事項

※発電機停止や水処理装置調整に伴う放流停止期間があったため、5月に実施予定の水素イオン濃度、化学的酸素要求量、全窒素、全リン、n-ヘキサン抽出物質、大腸菌群数の項目を6月に測定した。

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水④） [平成24年6月分]

調査日：平成24年6月18日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	13:45	14:05
カルシウム [mg/L]	<0.005	<0.005
全シアン [mg/L]	<0.025	<0.025
鉛 [mg/L]	<0.01	<0.01
六価クロム [mg/L]	<0.02	<0.02
砒素 [mg/L]	0.009	0.007
総水銀 [mg/L]	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 [mg/L]	<0.0005	<0.0005
PCB [mg/L]	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン [mg/L]	<0.002	<0.002
四塩化炭素 [mg/L]	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,1-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,1,1-トリクロロエタン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,1,2-トリクロロエタン [mg/L]	<0.002	<0.002
トリクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン [mg/L]	<0.002	<0.002
1,3-ジクロロプロペン [mg/L]	<0.002	<0.002
チオラム [mg/L]	<0.006	<0.006
シマジン [mg/L]	<0.003	<0.003
チオベンカルブ [mg/L]	<0.02	<0.02
ベンゼン [mg/L]	<0.002	<0.002
セレン [mg/L]	0.035	0.020

項目	区分	
	放流水	内水
フェノール類 [mg/L]	<0.025	<0.025
銅 [mg/L]	<0.02	<0.02
亜鉛 [mg/L]	0.03	<0.02
溶解性鉄 [mg/L]	<0.02	<0.02
溶解性マンガン [mg/L]	<0.01	0.01
全クロム [mg/L]	<0.02	<0.02
陰イオン界面活性剤 [mg/L]	0.14	0.16
有機燐 [mg/L]	<0.05	<0.05
ほう素 [mg/L]	11	9.4
ふっ素 [mg/L]	6.8	6.3
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	2.1	1.2
アンモニア性窒素×0.4 [mg/L]	0.03	0.64
亜硝酸性窒素 [mg/L]	<0.01	0.10
硝酸性窒素 [mg/L]	2.1	0.41
ダイオキシン類 [pg-TEQ/L]	0.00035	-

特記事項

※発電機停止や水処理装置調整に伴う放流停止期間があったため、5月に実施予定の放流水及び内水の健康項目等を6月に測定した。

悪臭様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

悪臭調査結果（大阪基地） [平成24年6月分]

調査日：平成24年6月13日

調査項目		調査地点	
		No. 5(風下)	No. 6(風上)
気象	天候	曇	曇
	気温(°C)	23.3	23.1
	湿度(%)	71	71
	風向	西南西～南西	西南西～南西
	風速(m/s)	0.7	0.5
臭気強度		0	0
臭気指数		<10	<10
臭質		無臭	無臭

悪臭調査結果（堺基地） [平成24年6月分]

調査日：平成24年6月13日

調査項目		調査地点	
		No. 5(風下)	No. 6(風上)
気象	天候	曇	曇
	気温(°C)	23.1	23.6
	湿度(%)	67	66
	風向	南西	南西
	風速(m/s)	0.5	1.2
臭気強度		0	0
臭気指数		<10	<10
臭質		無臭	無臭

悪臭調査結果（泉大津基地） [平成24年6月分]

調査日：平成24年6月14日

調査項目		調査地点	
		D1(風上)	D2(風下)
気象	天候	晴	晴
	気温(°C)	30.0	29.4
	湿度(%)	52	53
	風向	北西	北西～西北西
	風速(m/s)	1.9	3.1
臭気強度		0	0
臭気指数		<10	<10
臭質		無臭	無臭